

技術の名称

脳活動情報出力装置

適用分野

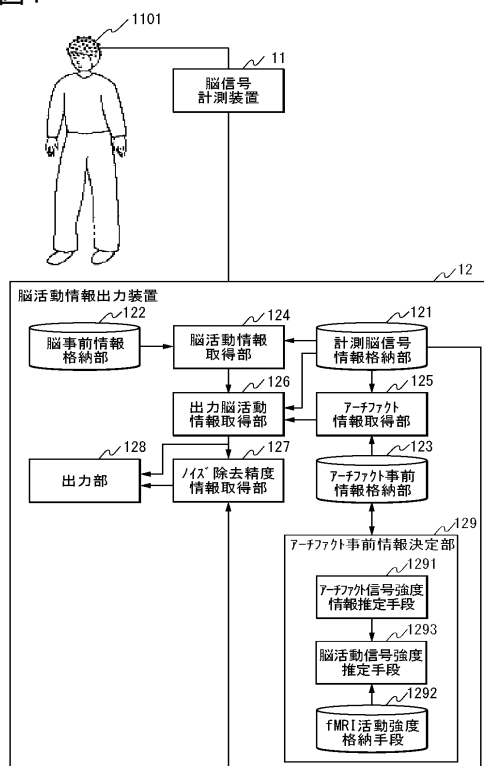
脳活動観測装置、BMI(Brain Machine Interface)

- 目的 脳波などの脳活動情報を得る際に、脳活動情報以外のアーチファクト(ノイズ)を排除して高い精度で脳活動情報を取得する。
- 効果 本発明によれば、脳活動とアーチファクト源の事前情報を用いてアーチファクトの影響を取り除いているので、極めて高い精度で脳活動情報を得ることができる。

技術概要 特記事項、 図など

アーチファクト源(例えば眼球)からの信号強度に関する事前分布を取得すると共にそのアーチファクト源の信号強度に関する事後分布を推定し、その事前分布と事後分布の差からアーチファクト事前情報を決定(129)し、一方、計測脳信号情報(121)と脳事前情報(122)とを用いて脳活動を推定して脳活動情報を取得(124)し、計測脳信号情報とアーチファクト事前情報とを用いてアーチファクト情報を推定して取得(125)し、計測脳情報と脳活動情報とアーチファクト情報とを用いて、計測脳情報からアーチファクトの影響を取り除いて出力脳活動情報を取得(126)している。

図1



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 脳活動情報出力装置、脳活動情報出力方法、およびプログラム
登録番号 :
出願番号 : 特願2009-222198
公開番号 :
- 出願日 : 平成21年9月28日

- 実施実績 有、 ○無
- 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
Tel 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp